

要 覧



青森県総合学校教育センター
AOMORI PREFECTURAL SCHOOL EDUCATION CENTER



青森県総合学校教育センター
イメージキャラクター
「アプセくん」

CONTENTS

I	設置目的・運営方針	1
II	業務の概要	2
1	研修に関する事	2
2	研究に関する事	3
3	教育相談に関する事	4
4	資料・情報の収集・提供に関する事	4
5	学校等の支援に関する事	5
6	情報化の推進に関する事	6
7	広報に関する事	7
III	組織機構	8
IV	施設の概要	9
V	沿革	11

I 設置目的・運営方針

1 設置目的

青森県総合学校教育センターは、設置条例に基づき、学校教育の充実振興を図るため、次の業務を行います。

- (1) 学校教育に関する教育関係職員の研修に関する事
- (2) 学校教育に関する専門的、技術的事項の研究に関する事
- (3) 教育相談に関する事
- (4) 学校教育に関する資料及び情報の収集及び提供に関する事
- (5) その他学校教育の充実振興上必要な事

2 運営方針

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

II 業務の概要

1 研修に関すること

「新しい時代に必要となる資質・能力」を育む「教師力」の向上」を目指し、次のように研修講座を開催します。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指し、学校現場で実践することをゴールに見据えた研修を提供します。
- 令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、課題設定や振り返りを含んだ演習・協議等の手立てを工夫した研修を提供します。
- 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。

(1) センター研修概要

指標の観点※/キャリアステージ/職		採用前 臨時講師等	形成期 初任からおおむね採用5年目まで	向上・発展期 おおむね採用6年目から15年目まで	充実期 おおむね採用16年目以降	校長及び教頭	
人間力 マネジメント力 ICT 活用	A E 基本研修 幼児教育センター 58講座		初任研・ 新採研	フォロー アップ研	中堅教諭等資質向上 前期研修講座 ※採用5～7年目のうち いずれかの1年間で受講する	中堅教諭等資質向上 後期研修講座 ※採用12～15年目のうち いずれかの1年間で受講する	
	B I 17講座		新任主任等に関する研修講座			新任管理職に 関する研修講座	
	II 職務研修 臨時講師 等の 研修講座 ※C・Dの講座 も受講可		職務に関する研修講座			主任等に関する研修講座	
	C 53講座		教科教育に関する研修講座				
D 37講座	専門研修 教科外研修		領域等に関する研修講座 生徒指導・教育相談に関する研修講座 特別支援教育に関する研修講座 情報教育に関する研修講座				

(2) 研修区分別内訳 [令和8年度講座数] (令和7年度講座数：延べ修了者数)

全体	[165講座]	(162講座：3,728人)
基本研修	[55講座]	(56講座：1,878人)
初任者研修	[24講座]	(24講座：1,044人)
新規採用者研修	[8講座]	(10講座：61人)
フォローアップ(2年次)研修	[5講座]	(4講座：200人、1講座：実施なし)
中堅前期研修、中堅前期・後期研修	[10講座]	(10講座：290人)
中堅後期研修	[8講座]	(8講座：283人、1講座：実施なし)
職務研修	[17講座]	(16講座：583人、1講座：実施なし)
専門研修	[90講座]	(90講座：1,267人)
幼児教育センター主催研修	[3講座]	

(3) 学校種別内訳 (令和7年度延べ修了者数)

全体	3,728人		
小学校(公立)	1,127人	中学校(公立)	967人
高等学校(県立)	910人	特別支援学校(県立)	717人
その他	7人		

2 研究に関すること

本県学校教育の諸課題について調査研究を行い、その成果を公表及び提供します。

- 学校への還元を第一とし、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究を行います。
- 学校での活用を進めるため、研究報告書、実践の手引き、指導資料等を作成して学校に提供します。
- 研究成果や研究過程を、Webページ上へ掲載し、広く県民に理解いただくとともに、全国に向け発信します。

研究では、研究員による個人研究のほか、本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究として、令和7年度から令和8年度までの2年間、「一人一人の子供を主語にする学校教育の実現に向けて」をテーマとして、全指導主事が課ごとの特性や専門性を生かした研究を推進していきます。その際、課の所属を超えた人的交流やサポート体制、情報共有を図っていくものとします。

センター研究 令和7年度の研究内容

研究グループ	研究テーマ
義務教育課	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業の在り方研究
高校教育課 (探究的な学びユニット)	教科における探究的な学びに関する研究
高校教育課 (特別支援教育ユニット)	青森県内の高等学校における特別な配慮を要する生徒へのアプローチに係る研究
高校教育課 (学習評価等ユニット)	「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の検討
高校教育課・産業教育課 (遠隔授業ユニット)	遠隔授業（講習）による個別最適な学びと協働的な学びの実現
	生徒の多様な学びを支える遠隔教育の実践について
特別支援教育課	省察と対話を核とした授業研究モデルの開発 ～子供の学びの事実を起点とした授業研究の在り方～
教育相談課	グループ・アプローチによる安心できる学級づくりの支援 ～子供が自分らしくいられる関係性の育成～

3 教育相談に関すること

県内の学校、本人や保護者の教育相談に応じます。

- 相談者の悩みや相談を一緒になって考えます。
- 学校や各市町村教育委員会、医療や福祉などの関係機関と連携して相談を行います。

(1) 教育相談課

主な相談内容	対象	方法
○子どもの教育全般に関すること ・いじめや不登校に関すること ・学習や進路に関すること ・性格や行動に関すること など	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9:00～17:00 (電話は8:30～) 月1回 土曜日 9:00～12:00 *土曜教育相談は、事前予約が必要です。事前予約が有る場合のみ、開催いたします。 *開催予定日の8日前までに、御予約ください。 開催予定日については当センターWebページ「教育相談のご案内」を御覧ください。
こころの教育相談センター（教育支援センター）		開室時間
○不登校状態にある県内全域の児童生徒（小中高高校生対象）に対し、適切な支援を行い、子どもの社会的自立を目的とする ・本人や保護者、教職員との面接相談により、不安や悩みの解消のための支援をします。 ・体験的な活動、望ましい集団活動により、社会的自立のための支援をします。 ・学習習慣の定着と学習意欲の向上のための支援をします。 ・学校復帰へのステップを本人とともに、家庭、学校と連携しながら考えます。		月・火・木曜日 10:00～14:45 金曜日 10:00～12:00 *水曜日はチャレンジ日 *長期休業中（夏休み・冬休み）は休みとなります。

(2) 特別支援教育課

主な相談内容	対象	方法
○特別支援教育に関すること ・園や学校・家庭での過ごし方に関すること ・学習のつまづきに関すること ・進路に関すること ・コミュニケーションに関すること ・見えや聞こえに関すること など	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9:00～17:00 月1回 土曜日 9:00～12:00 *土曜教育相談は、事前予約が必要です。事前予約が有る場合のみ、開催いたします。 *開催予定日の8日前までに、御予約ください。 開催予定日については当センターWebページ「教育相談のご案内」を御覧ください。

【資料】相談件数（令和7年度）

	相談件数(件)		電話(件)	来所(件)
	2,008	①教育相談課 1,912	1,134	778
	②特別支援教育課 96	78	18	

4 資料・情報の収集・提供に関すること

学校教育に関する図書、視聴覚教材、その他必要な教育資料等を収集・整理し、提供します。

- 教育に関する図書資料等を収集・整理し、研修・研究等に活用できるように提供します。
- 図書資料室の利便性確保と環境整備を行います。

原則として、県内の幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教職員の方々に御利用いただけます。利用時間は、平日の9:00～16:30です。

【令和7年度の図書資料等】

	図書	視聴覚教材	その他
令和7年度収集	199冊	0本	・各教科や道徳、生徒指導等学校教育に関する36種の定期刊行物 ・全国の教育センターや大学等の研究紀要をはじめとする教育資料
累計	21,169冊	433本	

5 学校等の支援に関すること

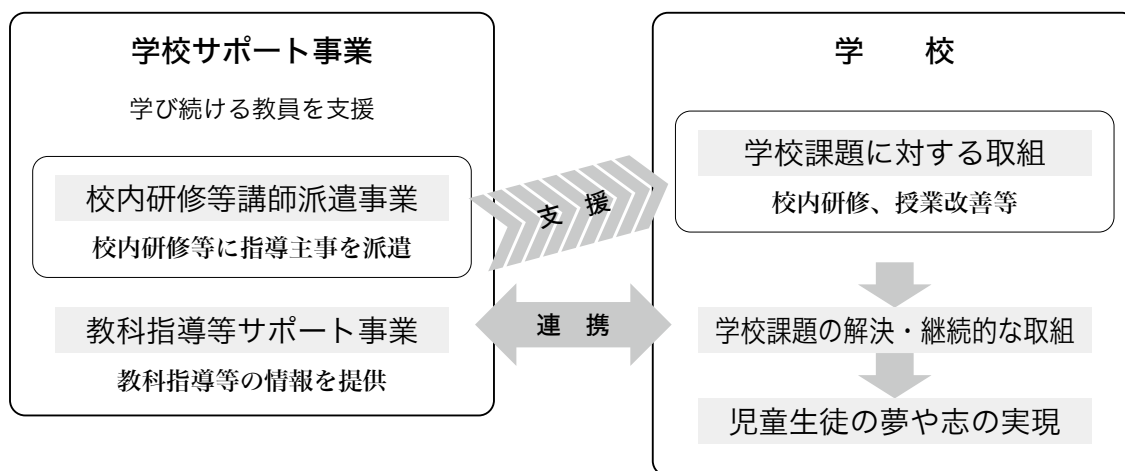
教育活動の充実のために、学校等が必要とする事業を展開し、教員をサポートします。

○校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援します。

○教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートします。



【校内研修等講師派遣事業のテーマ例】

<p>学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ◆デジタル学習基盤の効果的な活用 ◆ユニバーサルデザインの視点による授業づくり ◆高等学校における探究的な学び <p>特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成 ○障がい特性に応じた指導 	<p>生徒指導・教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇児童生徒理解のための調査法の活用 ◇人間関係づくり (グループアプローチを中心に) ◇面接相談の進め方 (教育カウンセリングの基本) ◇児童生徒のためのストレスマネジメント ◇いじめの未然防止と対応 ◇不登校の未然防止と対応 ◇保護者への対応 ◇情報モラルの指導 ◇SOSの出し方教育 ◇愛着の問題への理解と対応
--	--

【令和7年度の実績】

事業名	件数
校内研修等講師派遣事業	140件
教科指導等サポート事業	77件

6 情報化の推進に関すること

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークの技術支援を行います。

- わかりやすい授業の実現に向けたICT活用を支援します。
- 授業に役立つ情報を提供します。
- 青森県教育ネットワーク（ASN）を活用して様々なサービスを提供します。

「教育の情報化」支援

学習者用コンピュータやICT機器の活用法など、教育の情報化に関わる技術を提供しています。



学習者用コンピュータの活用



ICT機器に関する技術支援

授業に役立つ情報の提供

「教育情報の提供」・「WEB授業動画配信」・「ICT活用応援サイト」など、授業に役立つ情報を提供しています。

授業に役立つ情報の提供については、当センタートップページの「リンク」から御覧いただくことができます。



総合学校教育センタートップページより

情報通信ネットワークの活用

青森県教育ネットワーク（ASN）を活用した様々なサービスを提供しています。

〔メーリングリスト〕

電子メールの一斉配信システムです。教育研究会、小・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の文化・体育団体等、教育活動の意見交換の場として利用できます。

詳しくは、当センタートップページの「学校サポート」を御覧ください。



ASN青森県教育ネットワーク
トップページより

7 広報に関すること

県内の最新の情報やセンターの研修講座、研究成果に関する情報等を広く県民に周知し理解を図ります。

- センターの業務や研修講座等の紹介について、Webページ、刊行物、メール配信等で情報を発信します。
- 授業に活用できる情報を提供します。

- ・要覧の発行
- ・「センターだより」の発行
- ・リーフレット「こころの教育相談センターのご案内」をWebページで公開
- ・メール配信を活用した各種情報提供
- ・「広報あおもりけん」等の広報誌へ記事提供
- ・「青森県総合学校教育センター センターセミナー」の開催

センターだより 第85号
令和8年3月9日発行

来年度予定されている新規講座の紹介

C02 小学校教科指導ICT基礎講座 7/27(金) 9:30-16:00(1日)	【講座概要】 1人1台端末や生成AIなどICTを活用しながら授業の質を高める実践について、講義や演習を通して指導の在り方を学び、授業改善と教員としての資力向上につなげます。 ※8年度は算数、理科、外国語を、9年度は国語、社会、図工を実施する予定です。(定員50名) 【次のような先生方にオススメです！】 ○ICTを活用した授業をしたい方や授業改善に生かしたい方 ○教科指導におけるICTの基本的な活用方法を知りたい方
D21 インクルーシブな学びを支える行動理解と学級づくりの工夫 7/9(木) 9:30-15:30(1日)	【講座概要】 多様な子供が安心して学べる学級づくりを一緒に考えてみませんか。本講座では、学習や協働を支えながら、教育的支援を必要とする幼児児童生徒の行動上の特性を、環境との相互作用の観点から捉え、日々の実践に生かせる予防・改善のための具体的な行動支援の在り方について学ぶことができます。 【次のような先生方にオススメです！】 ○多様な子供一人一人が安心して過ごせる学級づくりを目指す方 ○子供たちの背景を「なぜそうなのか」という視点で捉え理解を深めたい方
D27 生成AI基礎講座 6/10(水) 9:00-12:00(半日)	【講座概要】 教育においても生成AIの活用が急速に進む中、どのように使用すればいいかわからないかと思えます。本講座では、GoogleのGeminiを使用し、生成AIの基本的な仕組みから、授業や校務での活用方法について、初めて使用する方も分かりやすく解説します。演習中心の内容で、実際に生成AIと対話しながら、文書作成等を行います。生成AIを活用する可能性を見つけてみませんか？(定員30名) 【次のような先生方にオススメです！】 ○初めて生成AIを活用される方 ○生成AIを授業や校務で活用されたい方
D36 遠隔教育基礎講座 8/5(水) 10:00-16:00(1日)	【講座概要】 本場では教育環境の変化に対応するため、遠隔授業の整備が進んでいます。本講座では、実際に来年度から本格的に授業で使用する配信センターの設備やアプリ「MetamoJj」を用いて研修を行います。「ICTで授業はどう変わるのか?」をテーマに、従来の授業をアップデートする具体的なスキルを身につけませんか？(定員30名) 【次のような先生方にオススメです！】 ○遠隔授業の仕組みや最新の機材活用に興味がある方 ○授業でICTの活用事例や、効果的な評価方法を知りたい方

以下の講座につきましては、7年度まで2日間で開催していた講座を再編し、8年度は新しく1日で開催するものになります。

- OC36 中学校技術・家庭科教育講座【情報 計測・制御のプログラミング】(7/1)
- OC38 中学校技術・家庭科教育講座【情報 ネットワーク通信・双方向性】(7/9)
- OC09 地理・歴史教育研修講座【中学校・高等学校】(7/17)
- OC10 公民教育研修講座【中学校・高等学校】(7/6)
- OC11 ICTを活用した地理歴史科公民科の授業づくり講座(7/30)
- OC12 地理歴史科公民科の研修履修づくり講座(8/28)

校内研修等講師派遣事業・教科指導等サポート事業の実績

【校内研修等講師派遣事業の実績】 派遣数 141件 受講者数 約3,100名

□校種・機関別件数	□テーマ別件数(依頼件数上位のもの)	□アンケート結果(5段階評価平均値)
小学校 39	授業力向上と授業改善 49	講義等の内容は分かりやすかったですか? 4.95
中学校 30	特別な配慮を必要とする児童生徒への支援 18	校内研修等の自律に促されて、講義等の内容は適切でしたか? 4.93
高等学校 33	不登校の未然防止と対応 13	
特別支援学校 10	授業におけるICT活用 9	
教育機関 9	SO5の進捗教育 6	
研究会・協議会 20	授業のユニバーサルデザイン化 5	

【教科指導等サポート事業の実績】 サポート数 71件

□主なサポート内容
音楽科の授業づくりに対する助言/通信制課程のレポート課題に対する助言/校内研修会の各教科学習指導案に対する助言/生活単元学習に対する助言

校内研修等講師派遣事業では、昨年度より件数は減ったものの、140件を超える校内研修や協議会などに当センター指導者を派遣することができました。アンケートを通じて「変化する社会に対応するため、私たちが教師自身も学び続けることの重要性を再認識しました。」や「現場の課題や先生方の困り感に直結する内容を学ぶことができ、大変勉強になりました。」などたくさんのご感想をいただきました。また教科指導等サポート事業では、さまざまな校種の教科指導等に対して、電話、メール、オンライン、訪問などによりサポートしてまいりました。尚事業を通じて、多くの校内研修等の活性化や教育活動の支援に寄与することができたのではないかと感じております。

令和8年度も皆様からのご要望に応えられるよう準備を進めて参りますので、当センターの学校サポート事業を積極的にご活用ください。

校内研修等講師派遣事業・教科指導等サポート事業についての詳細は、当センターWebページをご覧ください。

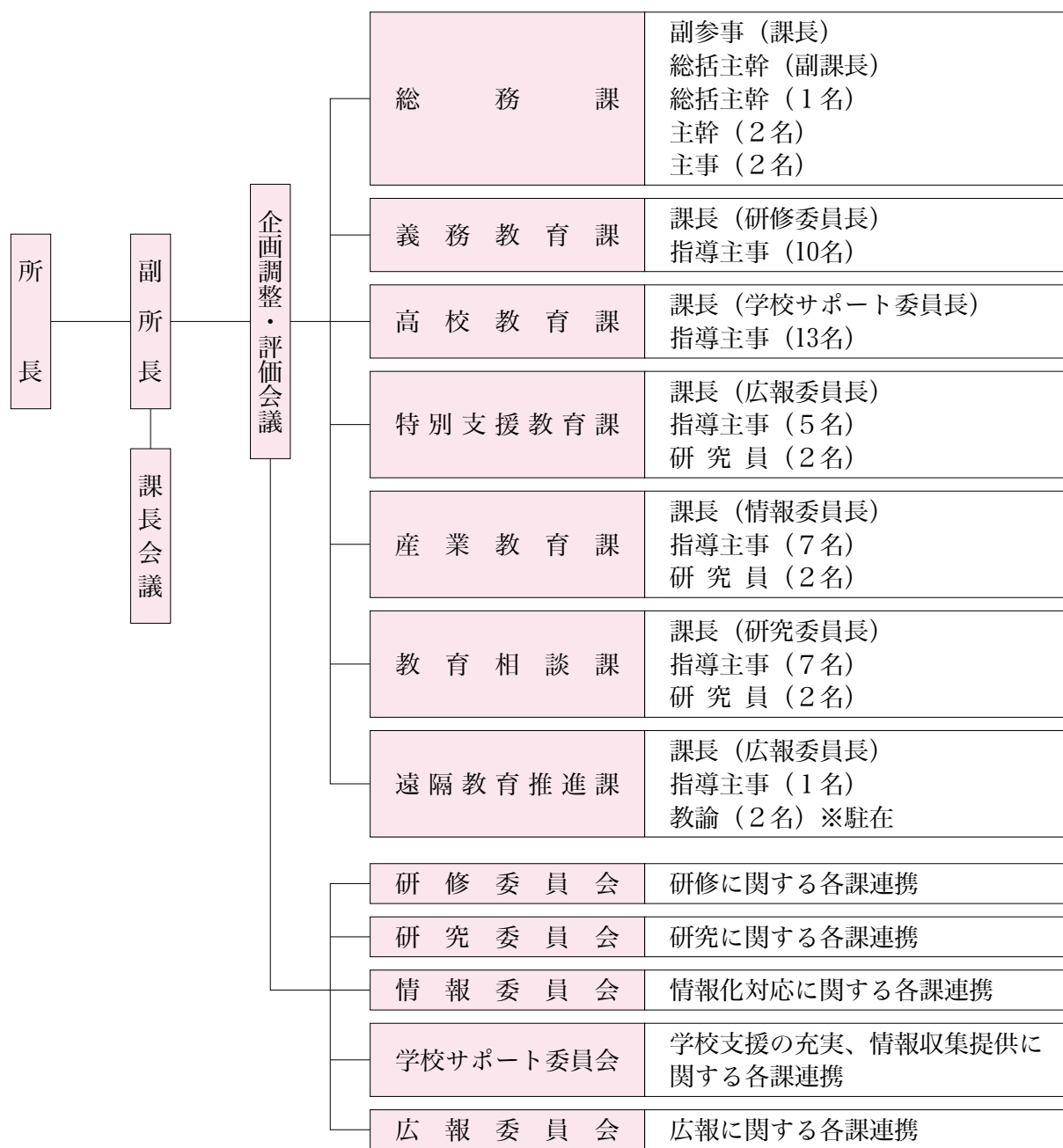
- 校内研修等講師派遣事業
学校の先生や教育関係者の解決に向け、教員自らの資質・能力向上を目指して行う研修に講師として派遣事業を実施し、のびやかなる活性化を図るとともに教育活動を支援します。
- ▽ 要覧・リーフレットはこちらから
- ▽ Web申込みフォーム(アンケートフォーム)はこちらから
- ▽ 校内研修の申し込みはこちらから

- 教科指導等サポート事業
県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して情報を提供し、サポートします。
- ▽ 要覧・リーフレットはこちらから
- ▽ 相談人カフェはこちらから

「センターだより第85号」(令和8年3月9日発行)

III 組織機構

令和8年4月1日現在



職員数

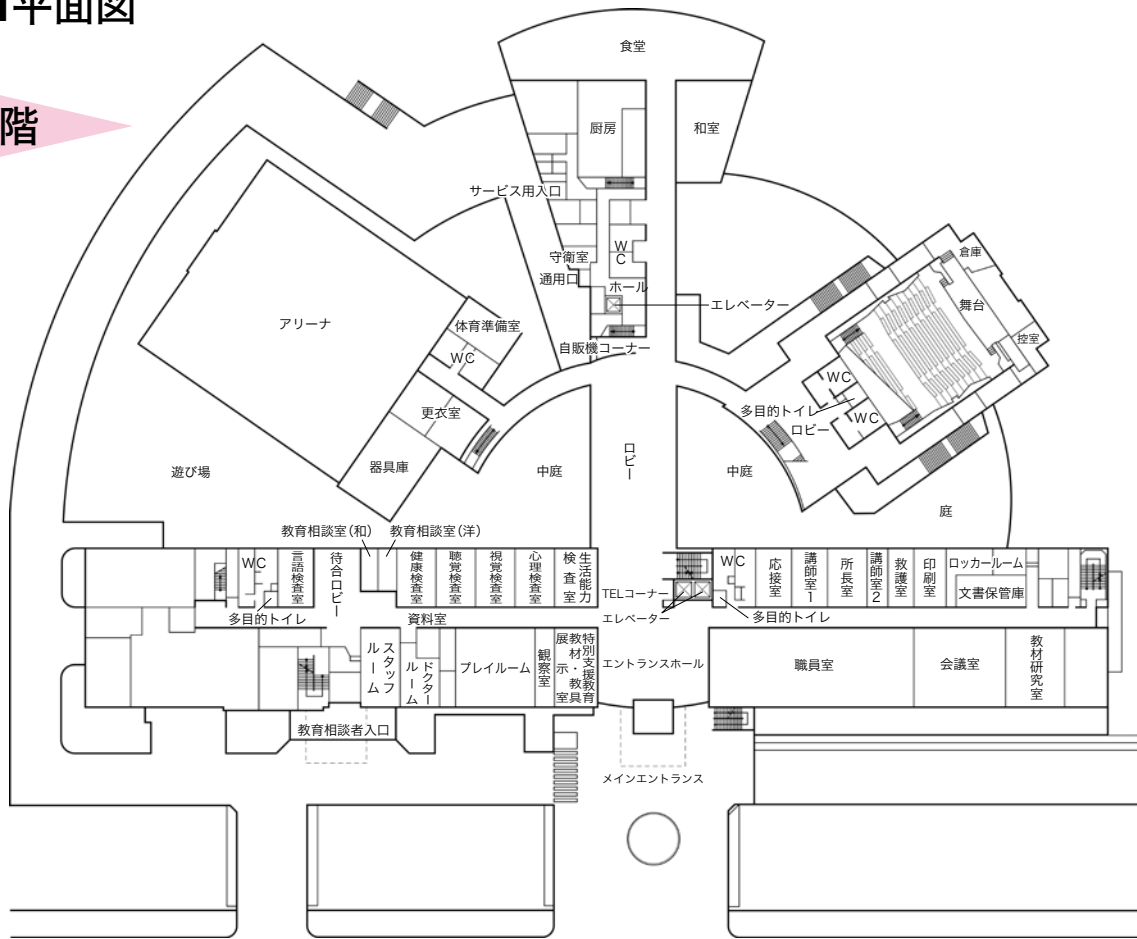
所長	副所長	副参事	課長	合計
1	1	1	6	
指導主事	総括主幹	主幹	主事	
43	2	2	2	
研究員	教諭 ※駐在	会計年度任用職員*		
6	2	13		

*会計年度任用職員・・・研修講座補助員2、非常勤事務員3、教育相談補助員2
指導員4、不登校支援コーディネーター1、外国語指導助手1

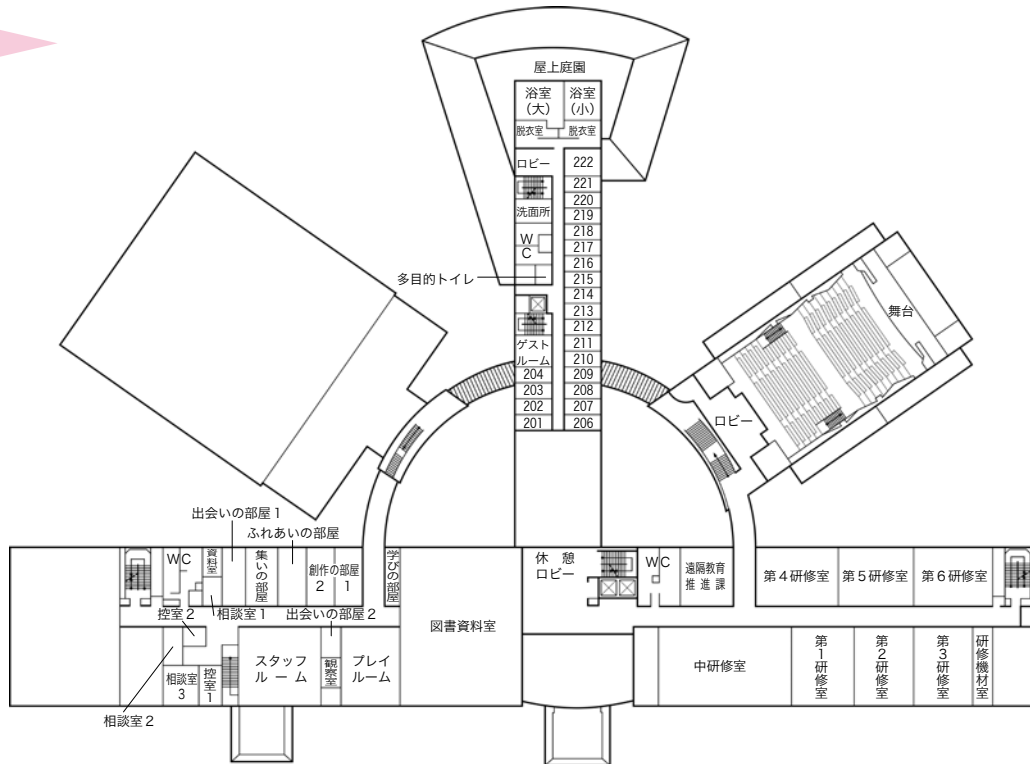
IV 施設の概要

■ 平面図

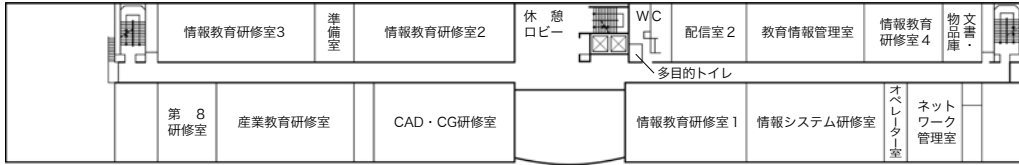
1階



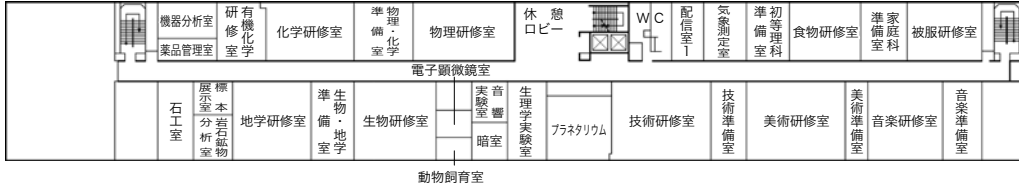
2階



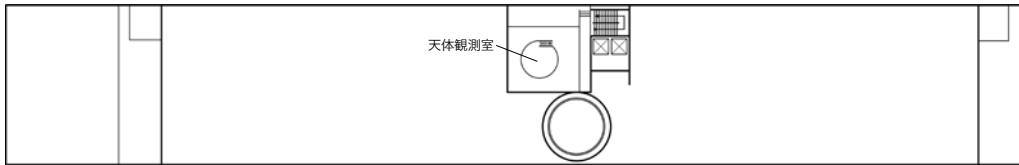
3階



4階

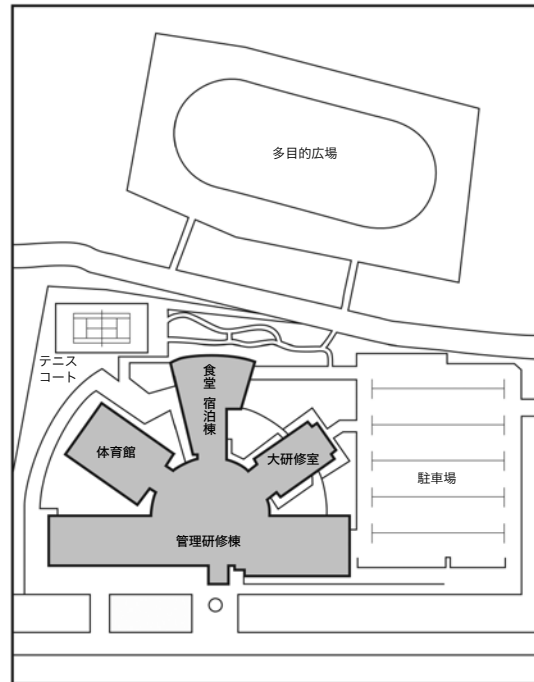


塔屋



■ 配置図

管理研修棟			
屋上			
塔屋	天体観測室	食堂 宿泊棟	
4階	音楽・美術・技術・家庭研修室 物理・化学・生物・地学研修室等 配信室1 フラネタリウム	宿泊室	
3階	第8研修室 情報教育研修室1・2・3・4 CAD・CG研修室 産業教育研修室 情報システム研修室 配信室2 教育情報管理室等		
2階	中研修室・第1～6研修室 遠隔教育推進課 図書資料室 学びの部屋・集いの部屋等		体育館
1階	職員室・会議室 プレイルーム 生活能力検査室等	食堂	アリーナ 大研修室
ピロティ		駐車場	



V 治 革

- I 運営方針
- II 業務の概要
- III 組織機構
- IV 施設の概要
- V 治 革

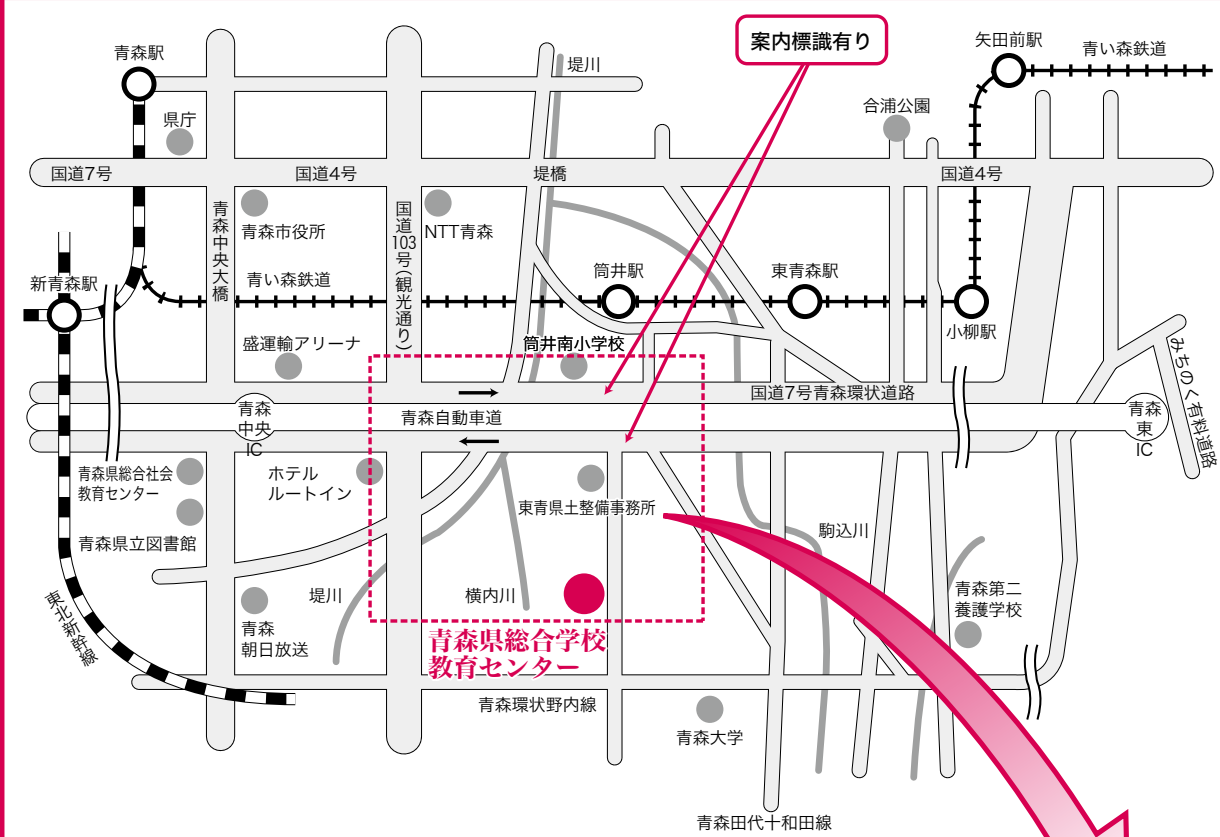
青森県教育研究所	青森県理科教育センター	<p>昭25.7 青森県教育研究所を青森県立図書館内に設置（初代所長 横山武夫教育次長）</p> <p>昭28.4 青森県教育調査研究所と改称（日赤青森支部隣接地に移転）</p> <p>昭32.4 青森県教育庁教育研究所と改称</p> <p>昭37.4 青森県教育研究所と改称（青森県立図書館内に移転）</p> <p>昭39.4 青森県理科教育センターを設置（青森県立図書館内）（初代所長 三上正章）</p> <p>昭39.11 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターを青森市大字筒井字桜川に移転</p>
青森県教育センター	青森県情報処理教育センター	<p>昭45.4 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターの統合により青森県教育センターを設置 分課は、庶務課、第一研修課、第二研修課及び第三研修課（初代所長 工藤信一）</p> <p>昭50.4 青森県情報処理教育センターを青森市新城天田内に設置 （初代所長 富谷郁逸）</p> <p>7 教職員研修開始</p> <p>9 生徒実習開始 宿泊棟竣工</p>
特殊教育センター	青森県情報処理教育センター	<p>昭55.3 青森県教育センター創立30周年・青森県理科教育センター15周年記念式典挙行</p> <p>昭56.4 第四研修課（別名特殊教育センター）を設置し、特殊教育部門を充実</p> <p>昭63.4 第一研修課、第二研修課及び第三研修課を統合して初等中等教育課を設置するとともに、第四研修課を特殊教育課と改称</p> <p>昭56.7 体育館竣工</p>
こころの教育相談センター	青森県情報処理教育センター	<p>平元.11 青森県情報処理教育センターの汎用コンピュータとオンライン接続</p> <p>平2.7 第一研修室にパーソナルコンピュータ導入</p> <p>昭56.7 体育館竣工</p> <p>平3.10 オンライン実習開始</p>
青森県総合学校教育センター		<p>平4 青森県総合学校教育センター（仮称）建設基本構想策定</p> <p>平6 基本・実施設計委託、建設用地取得</p> <p>平7 本体工事着手</p> <p>平8 多目的グラウンド等設計委託</p> <p>平9.11 管理研修棟・大研修室棟・体育館・食堂宿泊棟竣工</p> <p>平10.4 青森県教育センター及び青森県情報処理教育センターを統合して、青森県総合学校教育センターを青森市大矢沢野田に設置（初代所長 平井軍治）</p> <p>分課は、総務課、義務教育課、高校教育課、特殊教育課、産業教育課及び教育相談課（こころの教育相談センター併置） 開所記念式典挙行 5月記念講演会開催</p> <p>平11 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会</p> <p>平12.10 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議</p> <p>平13.4 特殊教育課を特別支援教育課と改称</p> <p>10 全国教育研究所連盟教育指導等研究協議会</p> <p>平15.10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭部会</p> <p>平16 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会</p> <p>平18.6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会（青森市）</p> <p>平22 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会</p> <p>平22.10 東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会</p> <p>平22.11 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議</p> <p>平23.10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 物理分科会</p> <p>平28.10 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会</p> <p>都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭科分科会</p> <p>令2.10 全国特別支援教育センター協議会研究協議会</p> <p>令4.3 管理研修棟・大研修室棟・食堂宿泊棟・体育館棟外部改修工事終了</p> <p>令4.10 全国適応指導教室教育支援センター等連絡協議会北海道・東北地域会議 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会</p> <p>令4.11 車路改修工事終了</p> <p>令5.10 全国適応指導教室・教育支援センター等連絡協議会 北海道・東北地域会議</p> <p>令6.3 大研修室電気設備等改修工事終了</p> <p>令7.1 電話交換機取替工事終了</p> <p>令8.4 遠隔教育推進課（青森県遠隔教育センター併置）開設</p>

連 絡 先

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
 TEL 017-764-1997(代) FAX 017-728-6351
 URL <https://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

総務課	直通	017-764-1997	義務教育課	直通	017-764-1996
高校教育課	直通	017-764-1995	産業教育課	直通	017-764-1994
特別支援教育課	直通	017-764-1993	相談申込・お問い合わせ		
	FAX	017-764-1992			017-728-5575 (教育相談課)
教育相談課	直通	017-764-1990			(こころの教育相談センター(教育支援センター))
	FAX	017-764-1989			017-764-1991 (特別支援教育課)
遠隔教育推進課	直通	017-738-4420			
(青森県遠隔教育センター)					

交通の御案内



- **青森市営バス**
青森駅発「学校教育センター」行きの終点で下車
- **タクシー**
「東青森土整備事務所から青森市スポーツ公園を過ぎた、県総合学校教育センター」と指定
- **自家用車**
国道7号青森環状道路に案内標識有り



Guidance

“新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”の向上



中央で育つ花は子どもたち、花が育つ場は学校です。それらを取り囲む教師集団は、互いに連携・協働しながら教育活動に取り組んでいます。また、暖かな色合いで学校を包み込んでいるのは県総合学校教育センター等の関係機関や家庭・地域社会で、教育活動を支える様子を表しています。

舞い上がる花の色は、学校教育全体を通して育成される新しい時代に求められる資質・能力を表し、舞い上がる花は、子どもたちが自立し社会参加へ向かう様子を表しています。